

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年3月4日

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長 北村 達也

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、筑後川下流用水管理所が予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

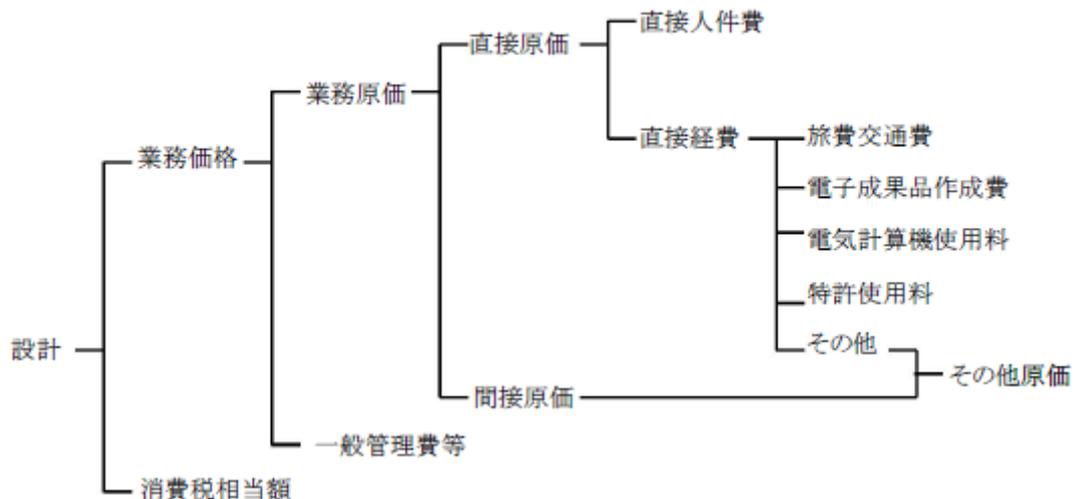
参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は「別紙-2 参考見積記入様式」を参考にしてください。
- (2) 提出期間：令和8年3月18日(水)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所 筑後川下流総合管理所長 宛
なお、送付先は以下のとおりとする。
〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島1063-2
【担当】筑後川下流総合管理所 工務課 山崎
E-mail : yugo_yamazaki@water.go.jp
TEL 0942-26-4551 FAX 0942-26-1525
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、FAX またはメール（いずれも社印があること）により提出するものとします。
なお、参考見積書の件名は「大詫間幹線水路管水路更新実施設計」としてください。

(5) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、下記「4. 参考見積内容」を実施する為に必要な技術者の人数を募集します。

(参考) 積算体系



(6) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和8年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

4. 参考見積内容

(1) 基本事項

歩掛参考見積りは、入札目的のものだけではなく、「別紙-1 参考見積仕様書」に示す作業を実施する標準的な歩掛とします。

(2) 目的

「大詔間幹線水路管水路更新実施設計」を行うために必要な歩掛を募集するものです。

(3) 見積内容

- ① 見積内容の詳細については、別紙のとおりとします。
- ② 見積もりする員数は、単位数量当たりとします。
- ③ 見積項目は、別紙に示す「作業項目、作業内容」毎に作成するものとします。
- ④ 業務実施にあたっての準拠基準は、下記等に示すものとし、最新版の基準を用いて設計を行うものとします。その他必要な基準がある場合には、水資源機構と協議するものとします。
 - ・ 水路工設計指針（平成30年3月）独立行政法人水資源機構
 - ・ 土地改良事業計画設計基準・設計及び運用・解説設計「パイプライン」（農林水産省・令和5年6月）
 - ・ 土地改良事業設計指針「耐震設計」（平成27年5月）農林水産省

- ・ 土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」（平成 26 年 3 月）農林水産省
 - ・ 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル（パイプライン編）（案）（平成 29 年 4 月）農林水産省
 - ・ 土地改良施設耐震設計の手引き（平成 24 年 4 月）農林水産省
 - ・ 水道施設耐震工法指針・解説（2022 年）日本水道協会
 - ・ 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編（平成 29 年 11 月）社団法人日本道路協会
 - ・ 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編（平成 29 年 11 月）社団法人日本道路協会
 - ・ 道路橋示方書・同解説 III コンクリート橋・コンクリート部材編（平成 29 年 11 月）社団法人日本道路協会
 - ・ 都市部鉄道構造物の近接施工対策マニュアル（平成 19 年 1 月）公益財団法人鉄道総合技術研究所
 - ・ 道路土工要綱（平成 21 年度版）（（公社）日本道路協会・平成 21 年 6 月）
 - ・ 道路土工仮設構造物指針（（公社）日本道路協会・平成 11 年 3 月）
 - ・ 土木工事共通仕様書（令和 6 年 4 月）独立行政法人水資源機構
 - ・ 筑後川下流用水総合対策事業 CAD 製図基準（案）（令和 6 年 8 月）独立行政法人水資源機構筑後川下流用水事業所
 - ・ その他、水路工設計指針に記載されている準拠基準
- ⑤ 本業務における貸与予定資料
- ・ 筑後川下流用水施設に係る地震対策検討委員会資料
 - ・ 総合対策大詫間幹線水路 JR 等横断区間管水路実施設計等業務（令和 8 年 3 月）
 - ・ 総合対策筑後導水路・大詫間幹線水路管水路上流部基本設計業務（令和 6 年 12 月）
 - ・ 総合対策筑後導水路安武・大詫間幹線水路伏部他測量業務（令和 6 年 11 月）
 - ・ 前歴事業の竣工図、実施設計報告書、土質調査報告書
 - ・ 過年度の管内調査資料
 - ・ 水路工設計指針
 - ・ 筑後川下流用水工事誌
 - ・ その他、水資源機構が必要と認めた資料

（４）見積有効期限

令和 9 年（2027 年）3 月末日とします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（１）提出期間：令和 8 年 3 月 11 日（水）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時まで

（２）提出場所：3. （３）に同じ。

（３）提出方法：3. （４）に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：質問書提出期限の翌々日から見積書提出期限終了まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

参考見積仕様書

第1章 適用

1-1 適用

本参考見積仕様書は、独立行政法人水資源機構（以下「機構」という。）が別に定める設計業務等共通仕様書（令和6年4月）（以下「共通仕様書」という。）に優先して大詫間幹線水路管水路更新実施設計（以下「本件」という。）に適用する。

なお、本件は共通仕様書第1編第1章第1節第1項に示す「設計業務」とする。

第2節 内容

2-1 概要

本件は、筑後川下流用水総合対策事業（以下「本事業」という。）として計画されている大詫間幹線水路の更新対象のうち神埼町竹の区間について、管水路更新の実施設計を行うものである。

- ・管水路更新の実実施設計 1式（約0.75km）

第3節 本業務

3-1 設計条件

設計条件は、次のとおりとする。

1. 設計範囲

- 管水路： No. 3+0.000～No. 11+94.950（パイプインパイプ工法）※見積対象
- 管水路： No. 8+86.900～No. 10+13.850 を除く

2. 水理条件

1) 水理検討範囲

佐賀東部導水路 No. 151+59.900～No. 161+75.000

鋼管φ2800（No. 151+59.900～No. 154+13.500）

鋼管φ2600（No. 154+13.500～No. 161+75.000）

大詫間幹線水路 No. 0+0.000～No. 21+34.360

（更新前）

鋼管及びFRPM管φ1500（No. 0+0.000～No. 11+94.950）

鋼管及びFRPM管φ1350（No. 12+9.200～No. 21+34.360）

（更新後）

鋼管φ1500（No. 0+0.000～No. 3+0.000）

鋼管φ1350（No. 3+0.000～No. 8+86.900）

鋼管φ1500及びφ1350（No. 8+86.900～No. 10+13.850）

鋼管φ1350（No. 10+13.850～No. 12+13.950）

鋼管φ1200（No. 12+13.950～No. 21+34.360）

2) 設計水位及び分水量

以下の条件をいずれも満たすこととする。

①条件1

始点水位 (城原調整水槽)	EL. 13. 600m (Q=10. 37m ³ /s)
到達水位 (大詫間放水工)	WL. 2. 600m (Q=3. 04m ³ /s) 堰下流側
引継水位 (城原金立分水工)	WL. 10. 700m (Q=0. 93m ³ /s) サイホンブレーカー位置
〃 (大詫間分水工)	— (Q=3. 86m ³ /s)
〃 (伏部分水工)	EL. 8. 388m (Q=0. 30m ³ /s) 末端
〃 (徳富分水工)	EL. 2. 850m (Q=0. 52m ³ /s) 着水井
〃 (〃 スタンド ^上 上流側)	WL. 7. 648m (Q=3. 04m ³ /s)
〃 (〃 スタンド ^下 下流側)	WL. 7. 150m (Q=3. 04m ³ /s)

②条件 2

始点水位 (城原調整水槽)	EL. 12. 000m (Q=5. 32m ³ /s)
到達水位 (大詫間放水工)	WL. 2. 600m (Q=2. 79m ³ /s) 堰下流側
引継水位 (城原金立分水工)	WL. 10. 700m (Q=0. 52m ³ /s) サイホンブレーカー位置
〃 (大詫間分水工)	— (Q=3. 45m ³ /s)
〃 (伏部分水工)	EL. 8. 388m (Q=0. 16m ³ /s) 末端
〃 (徳富分水工)	EL. 2. 850m (Q=0. 50m ³ /s) 着水井
〃 (〃 スタンド ^上 上流側)	WL. 7. 030m (Q=2. 79m ³ /s)
〃 (〃 スタンド ^下 下流側)	WL. 6. 472m (Q=2. 79m ³ /s)

③条件 3

始点水位 (城原調整水槽)	EL. 12. 000m (Q=10. 00m ³ /s)
到達水位 (大詫間放水工)	WL. 2. 600m (Q=2. 63m ³ /s) 堰下流側
引継水位 (城原金立分水工)	WL. 10. 700m (Q=1. 16m ³ /s) サイホンブレーカー位置
〃 (大詫間分水工)	— (Q=3. 21m ³ /s)
〃 (伏部分水工)	WL. 8. 388m (Q=0. 14m ³ /s) 末端
〃 (徳富分水工)	WL. 2. 850m (Q=0. 44m ³ /s) 着水井
〃 (〃 スタンド ^上 上流側)	WL. 7. 010m (Q=2. 63m ³ /s)
〃 (〃 スタンド ^下 下流側)	WL. 6. 151m (Q=2. 63m ³ /s)

3. 構造条件

大詫間幹線水路：鋼管 φ1350mm (パイプインパイプ)、立坑 4 箇所

4. 水路型式

水路型式は、クローズドタイプとオープンタイプの複合パイプラインとする。

5. 自動車荷重

道路管理者が指示する荷重

6. 耐震性

レベル 1 地震動により健全性を損なわない状態

7. 通水停止期間

11 月上旬から 3 月下旬まで

3-2 業務内容

本業務は、大詫間幹線水路の更新対象のうち上流部管水路区間における約 0.75 km の区間について、管水路更新の実施設計を行うものである。

総合対策筑後導水路・大詫間幹線水路管路上流部基本設計業務（以下、基本設計）の成果を踏まえ、対象区間における実施設計を行い、工事発注に必要な設計図作成、施工計画の検討、数量計算書の作成及び概算工事費の積算を行い、点検とりまとめ及び報告書作成を行うことを目的とする。

① 現地調査

受注者は、実施設計に必要な現地調査を行うものとする。また、工事の実施に係る法令等についても、必要な調査を行うものとし、以下の点に留意するものとする。

- ・既設水路沿いの地形、現地状況、施工方法や仮設計画の設計に必要な各種調査を行う。
- ・埋設構造物、近接構造物等の支障物の調査、確認を行う。

② 資料の検討

受注者は、実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握するものとする。

③ 設計計画

1. 基本条件の検討

受注者は、基本設計の成果及び収集資料に基づいて、設計範囲における各構造物の水理構造条件を決定するものとする。

2. 管種、管径、管割の検討

受注者は、基本設計の成果や決定した水理構造条件に基づき、必要な比較を行ったうえで管種、管径、管割を決定するものとする。

④ 水理検討

1. 受注者は、設計範囲の水理構造条件を機構が指定する水理計算プログラム（Excel）へ反映させ、城原調整水槽から大詫間放水工までの水理計算（定常水理解析）を行うものとする。
2. 計算間隔は、50m 毎及び主要点（IP、分土工、空気弁工、排泥工等）とする。
3. 水理縦断図の内容及び水理計算書の様式は、調査職員が指示するものとする。
4. 水理計算で使用する水位や水量などの条件は、第2章2-1に示すものの使用を基本とするが、調査職員による事前の確認を得てから、水理計算を行うものとする。
5. 受注者は、⑩で検討する施工計画において施工年数が複数年に及ぶ場合、施工の進捗に合った損失水頭を年毎に整理し、各年の水理変化を確認するための計算を行うものとする。

⑤ 構造計算

受注者は、本体施設（管水路）及び仮設構造物の各実施断面について、内外圧荷重やレベル1地震動に対する各種設計条件を整理し構造計算を行うものとする。

⑥ 構造図作成

受注者は、本体施設（管水路）及び仮設構造物の構造詳細図（異形管構造詳細図、管割図、地下水位及び掘削底面の安定対策を含む）を作成するものとする。

⑦ 平面縦断面図作成

受注者は、管径や管種等の区分、既設管の管割を表示した詳細な平面縦断面図を作成するとともに、管割図を作成するものとする。

⑧ 土工図作成

受注者は、施工法の区分毎に土工数量等を記入した土工図を作成するものとする。

⑨ 数量計算

受注者は、土工、管、仮設工材料、支障物等の詳細数量計算を行うものとする。

⑩ 施工計画

受注者は、工程計画、施工の順序、方法や主要仮設の施工計画等について取りまとめるとともに、詳細計画図を作成するものとする。

また、現地調査で確認した支障物や騒音振動対策について、詳細な比較を行ったうえで対策法を決定し、詳細計画図を作成するものとする。

⑪ 概算工事費積算

(1) 受注者は、各工種の単価を作成し、概算工事費を算定するものとする。

(2) 概算工事費については、調査職員が指示する工法毎に算出するものとする。

⑫ 総合検討

受注者は、上記作業について総合的に検討を行うものとする。

⑬ 照査

受注者は、照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行うものとする。

⑭ 点検とりまとめ

受注者は、水理構造計算、数量計算の点検、図面の点検、照査とりまとめ及び報告書作成を行うものとする。

⑮ 設計図

受注者は、次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
位置図	調査職員に確認	
平面図	1/500	
縦断面図・管割図	V=1/200、H=1/500	
撤去復旧工関連図	平面縦断面図に準ずる 詳細図は調査職員に確認	平面図、詳細図 対象に応じて縦断面図
機能回復工関連図	平面縦断面図に準ずる 詳細図は調査職員に確認	平面図、縦断面図、詳細図 対象に応じて縦断面図
指定仮設工関連図	平面縦断面図に準ずる 詳細図は調査職員に確認	計画平面図、立坑構造図、仮 廻し道路・水路工構造図

		対象に応じて縦断図
無指定仮設関連図	平面縦断図に準ずる 詳細図は調査職員に確認	計画平面図、工事用進入路計画図、施工ヤード計画図、借地面積求積図
土工横断図	1/50	
中心線線形図	調査職員と協議	
土工標準横断図	1/50	
管況図	1/100	鋼管製作図
タイプ別構造詳細図及び異形管構造詳細図 電気防食対策	調査職員に確認	更生管設置に係る付属物を含む 電気防食対策については要否を確認するものとする
管割図	調査職員に確認	
その他調査職員が指示する図面		

以上

別紙-2 参考見積記入様式

【作成にあたっての留意事項】

- ・国土交通省が公表している「令和8年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします
- ・歩掛表に記入している職種は参考例です。必要に応じて職種の追加・削除をお願いします。
- ・諸雑費を計上する場合は、何に要する費用か記載をお願い致します。

1) 詳細設計(パイプインパイプ区間)

1 km当たり

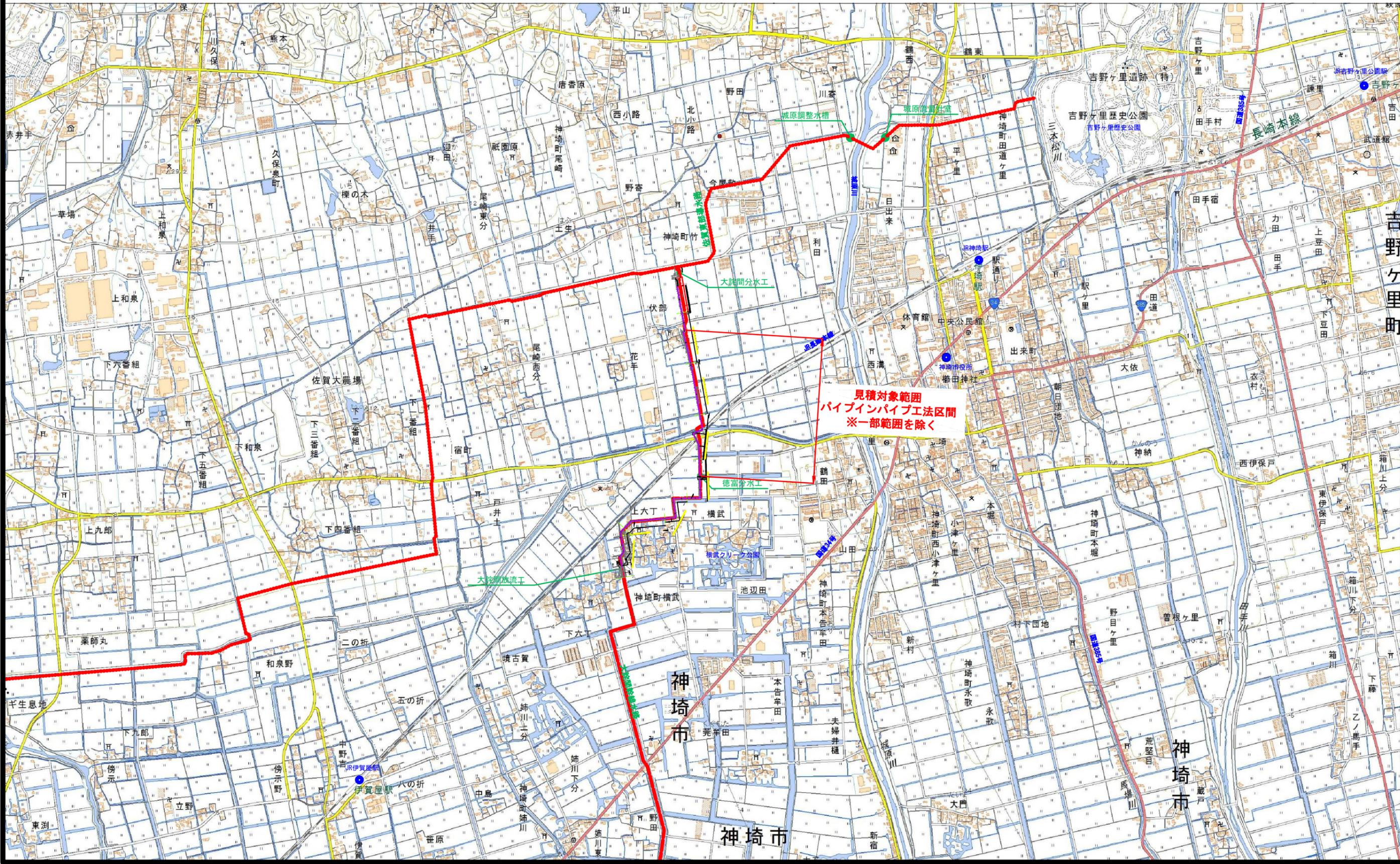
作業項目	単位	数量	作業歩掛(人)							備考 (補正式等を記載)
			技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計	
(1) 現地調査	km	1								0.3n+0.7 (nは対象延長(km))
(2) 資料の検討	km	1								0.6n+0.4 (nは対象延長(km))
(3) 設計計画										
① 基本条件の検討	km	1								0.8n+0.2 (nは対象延長(km))
② 管種、管径、管割の検討	km	1								0.4n+0.6 (nは対象延長(km))
(4) 水理検討	km	1								0.4n+0.6 (nは対象延長(km))
(5) 構造計算	km	1								0.6n+0.4 (nは対象延長(km))
(6) 構造図作成	km	1								0.4n+0.6 (nは対象延長(km))
(7) 平面縦断図作成	km	1								0.8n+0.2 (nは対象延長(km))
(8) 土工図作成	km	1								0.9n+0.1 (nは対象延長(km))
(9) 数量計算	km	1								0.3n+0.7 (nは対象延長(km))
(10) 施工計画	km	1								0.4n+0.6 (nは対象延長(km))
(11) 概算工事費積算	km	1								
(12) 総合検討	km	1								0.3n+0.7 (nは対象延長(km))
(13) 照査	km	1								
(14) 点検とりまとめ	km	1								0.3n+0.7 (nは対象延長(km))



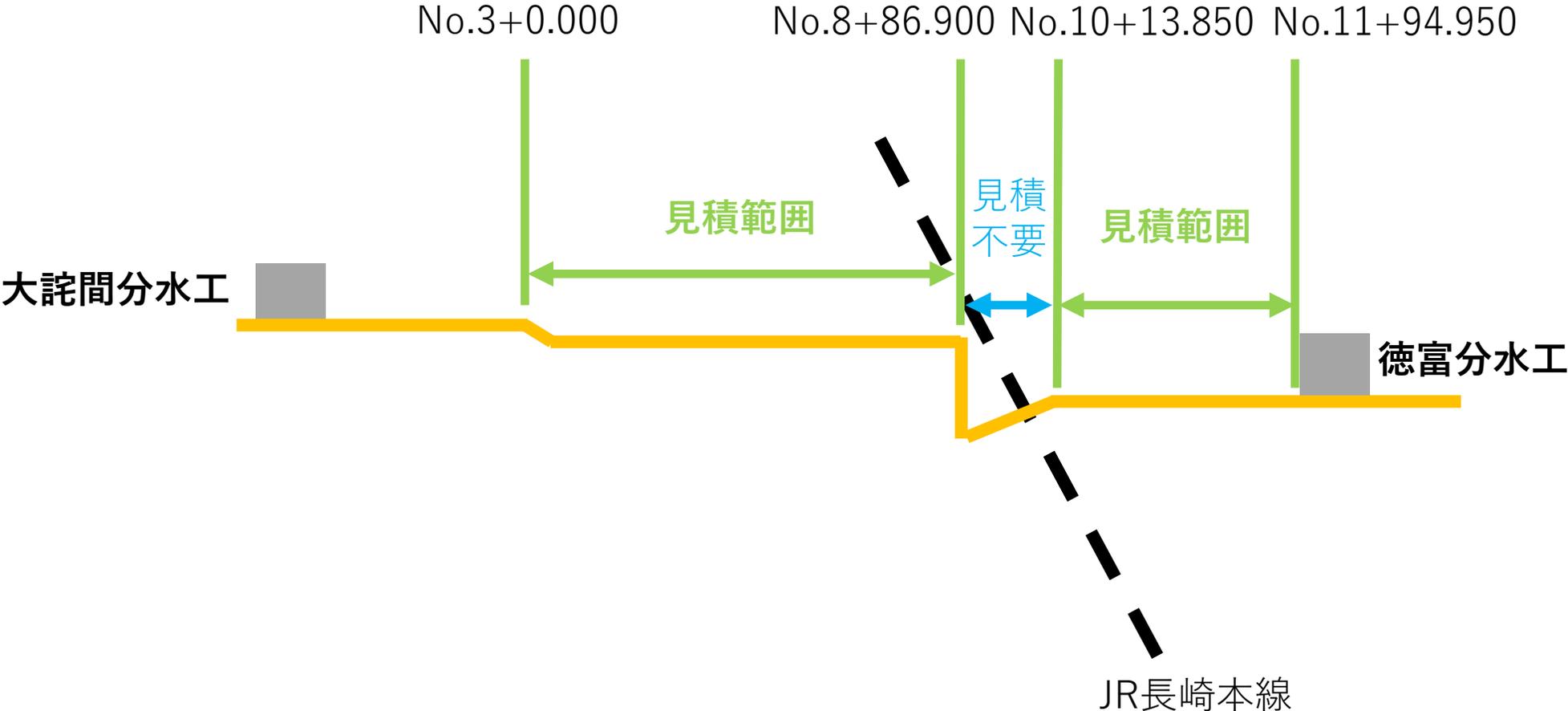
参考図

位置図

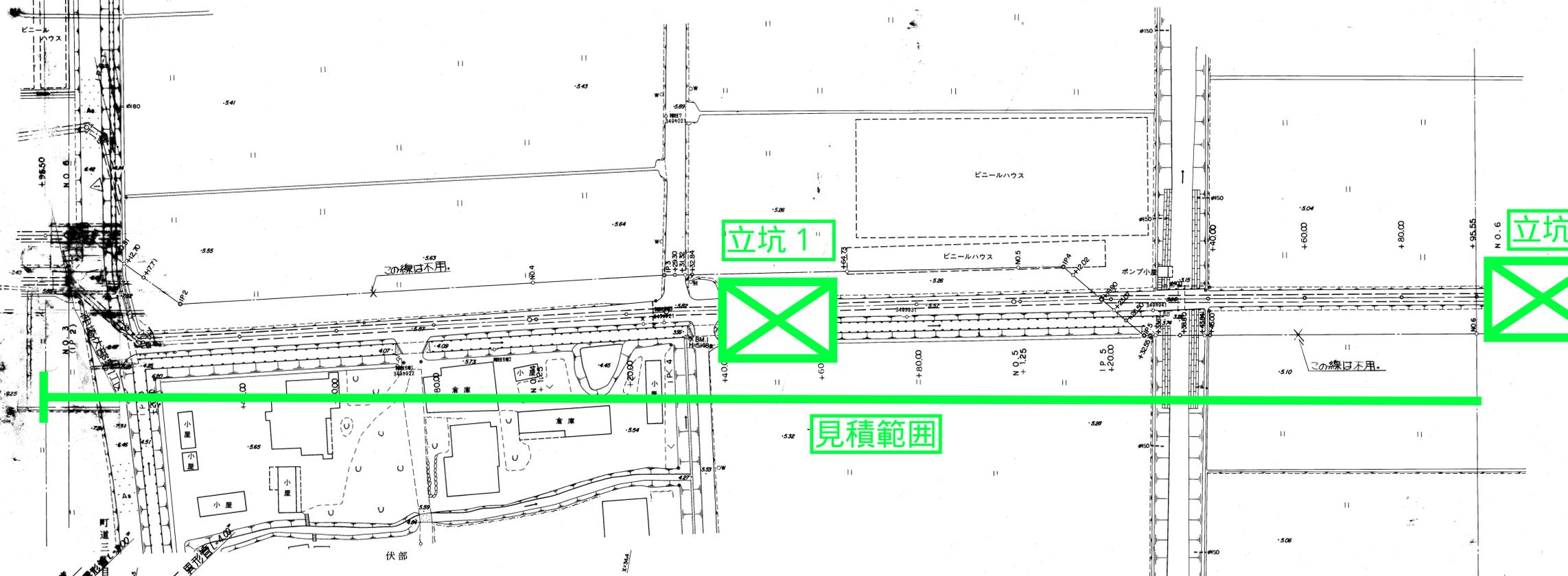
S=1:10,000



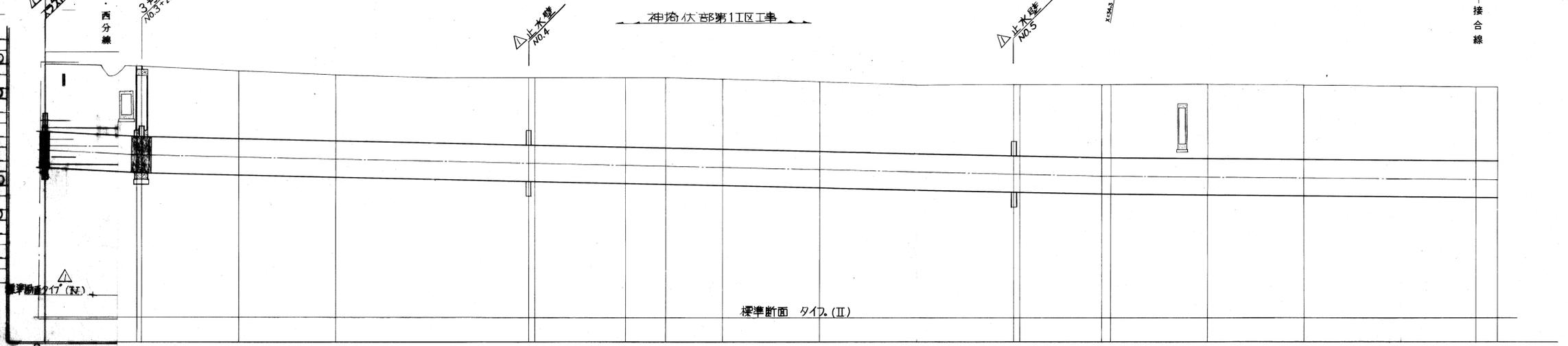
平面概要図



平面図 S=1/500

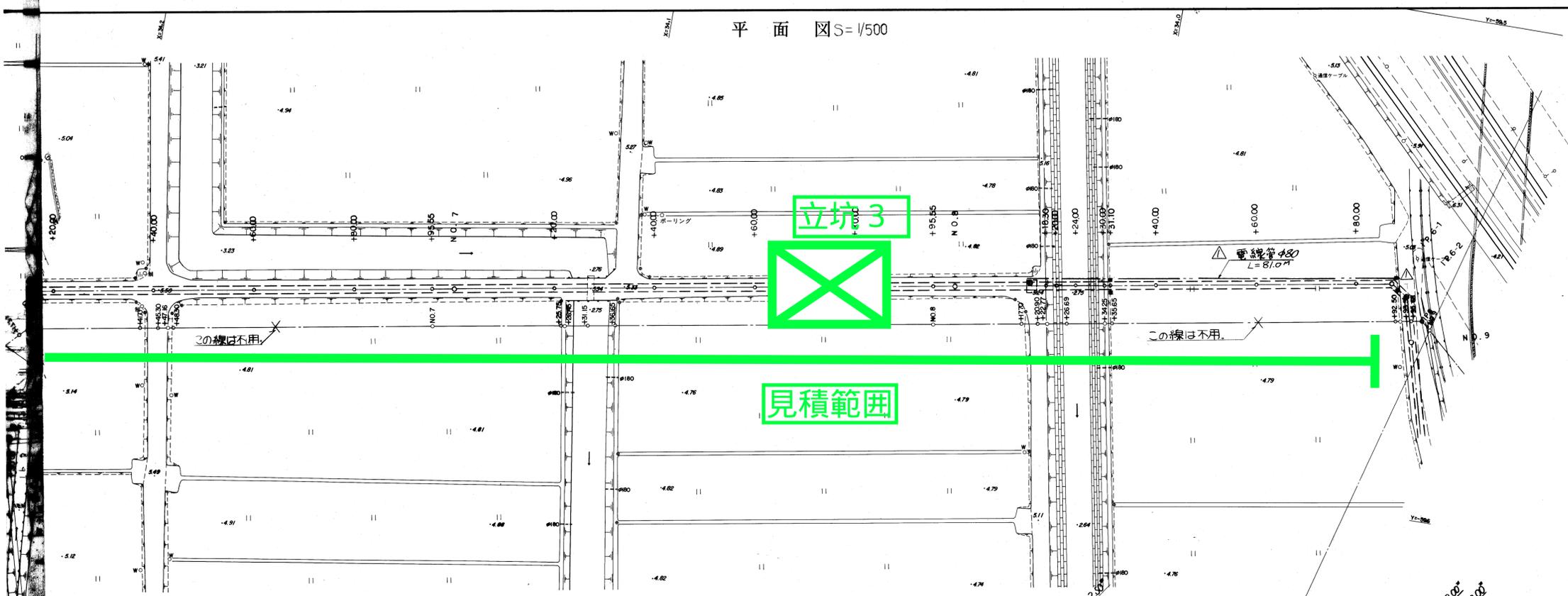


縦断図 S=1/500
S=1/100

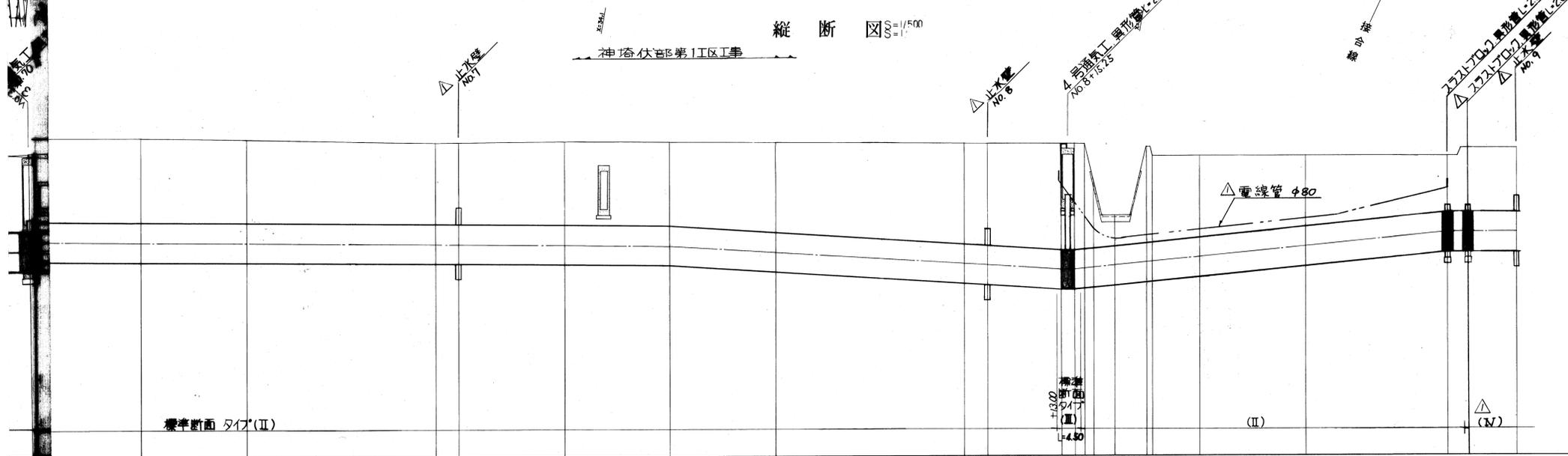


土被	2.86	2.86	2.75	2.70	2.68	2.77	2.77	2.66	2.89	2.88	2.86	2.83	2.94	3.02	3.02	3.08	3.08	3.06	3.06	3.07	
管	強化プラスチック複合管 φ1500mm 4種管																				
管底	2.70	2.696	2.606	2.515	2.425	2.325	2.325	2.444	2.206	2.154	2.063	1.973	1.892	1.800	1.797	1.761	1.725	1.689	1.660	1.652	
管高	6.35	6.34	6.19	6.04	5.99	5.84	5.84	5.90	5.88	5.84	5.80	5.75	5.70	5.66	5.66	5.62	5.58	5.55	5.53	5.52	
追加距離	319.20	320.00	340.00	360.00	380.00	400.00	401.25	420.00	428.32	440.00	460.00	480.00	500.00	518.19	520.00	540.00	560.00	580.00	595.55	600.00	
区間距離	18.20	0.80	20.00	20.00	20.00	20.00	1.25	18.75	8.32	11.68	20.00	20.00	20.00	16.94	1.81	20.00	20.00	20.00	15.55	4.45	
管底	IP.3 +20.00		+40.00	+60.00	+80.00	+9.00	NO.5 +11.25	+20.00	IP.4	+40.00	+60.00	+80.00	NO.5 +11.25	IP.5 +20.00		+40.00	+60.00	+80.00	+95.55	NO.6	
管	IA-42°03'21"																				
管	IA-45°00'00"																				
管	IA-1°47'00"																				
管	IA-1°15'26"																				

平面図 S=1/500

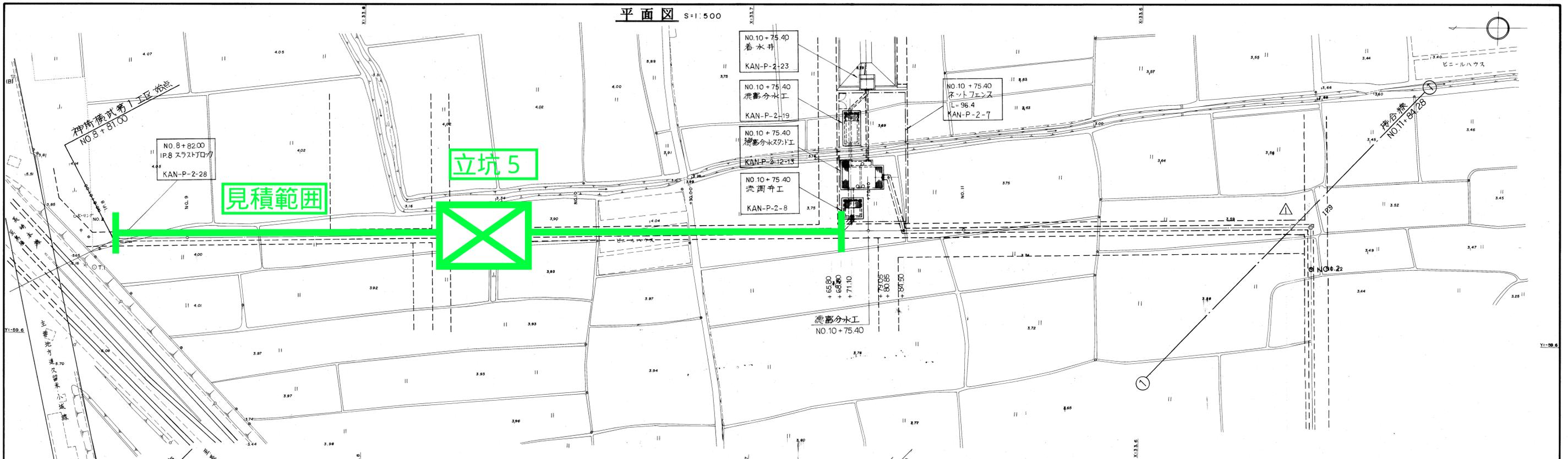


縦断図 S=1/500

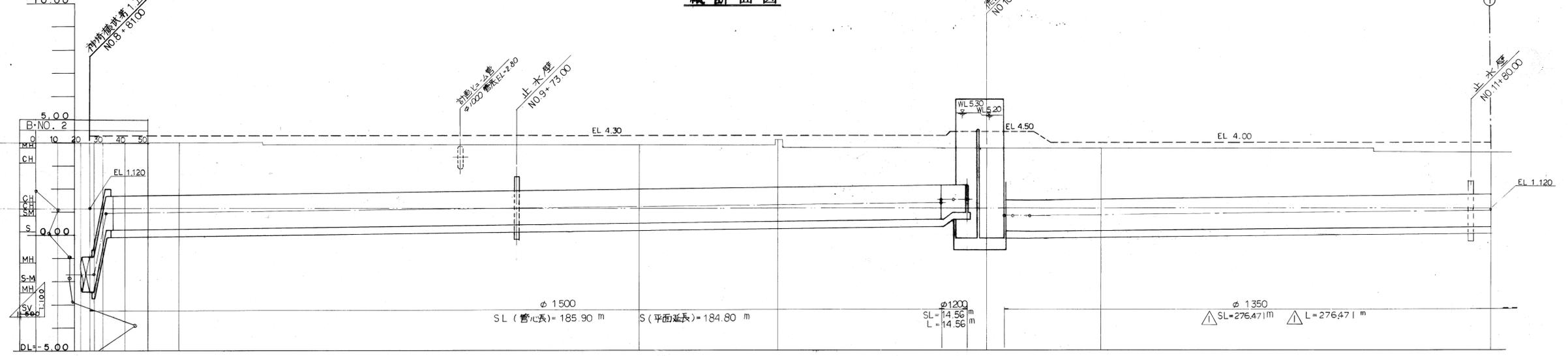


Station	0+00	0+20	0+40	0+60	0+80	0+95.55	0+100	0+110	0+120	0+130	0+140	0+150	0+160	0+170	0+180	0+190	0+200	0+210	0+220	0+230	0+240	0+250	0+265	0+275	0+285	0+290	0+300	
Height	1.580	1.544	1.508	1.480	1.472	1.436	1.400	1.157	0.914	0.724	0.670	0.500	0.524	0.536	0.569	0.649	0.768	0.789	0.966	1.362	1.759	1.900	1.900	1.900	1.900	1.900	1.900	
Ground Level	5.46	5.43	5.40	5.38	5.37	5.34	5.32	5.50	5.28	5.26	5.26	5.24	5.24	5.24	5.24	5.26	5.26	5.26	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79	4.79	
Offset	640.00	660.00	680.00	695.55	700.00	720.00	740.00	760.00	780.00	795.55	800.00	814.00	816.50	818.00	820.00	824.00	830.00	831.70	840.00	860.00	880.00	887.13	887.13	887.13	887.13	887.13	887.13	887.13
Width	20.00	20.00	20.00	15.55	4.45	20.00	20.00	20.00	20.00	15.55	4.45	14.00	2.50	1.70	4.00	6.00	1.00	8.90	20.00	20.00	20.00	7.13	4.00	4.00	4.00	4.00	8.87	
Elevation	+40.00	+60.00	+80.00	+95.55	NO.7	+20.00	+40.00	+60.00	+80.00	+95.55	NO.8	+14.00	+16.50	+20.00	+24.00	+30.00	+31.70	+40.00	+60.00	+80.00	IP.6-1	IP.6-2	NO.9	NO.9	NO.9	NO.9	NO.9	

IA-42°57'11" IA-41°34'26"



縦断面図



曲線	測点	単距離	追加距離	地盤高	管中心	計画土被り	高勾配
R=113.0°	NO. 8 IP. 8 +84.65	0.00	881.00	4.00	-1.700	4.83	-1.70
		1.00	882.00	4.00	-1.700	4.83	0.95
	NO. 9 +73.00	18.00	900.00	4.00	0.994	2.24	
	NO. 10 +56.00	100.00	1000.00	3.90	1.205	1.92	
	+36.00	30.00	1030.00		1.271	2.07	
	+65.80		1065.80		1.350	1.62	
	+68.30		1068.30		1.350		
	+71.10		1071.10				
	+75.40	45.40	1075.40	3.75			
	+79.05		1079.05				
	+80.85		1080.85				
	+84.50		1084.50		0.800		
	NO. 11 +80.00	24.80	1109.30		0.831	2.21	
	IP. 9 +84.28		1134.10	1.54	1.002	1.91	

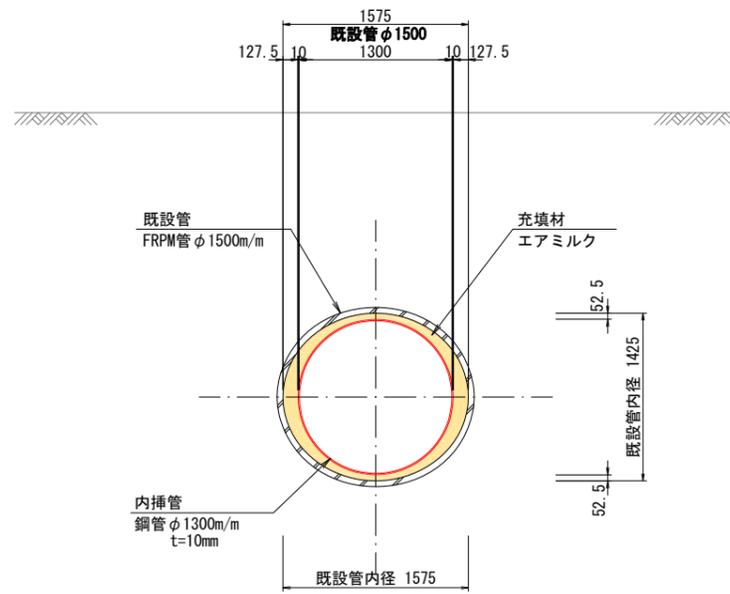
パイプインパイプ
標準断面図

大詫間幹線水路 上流管水路 改築計画管理設標準断面図 (3/3)

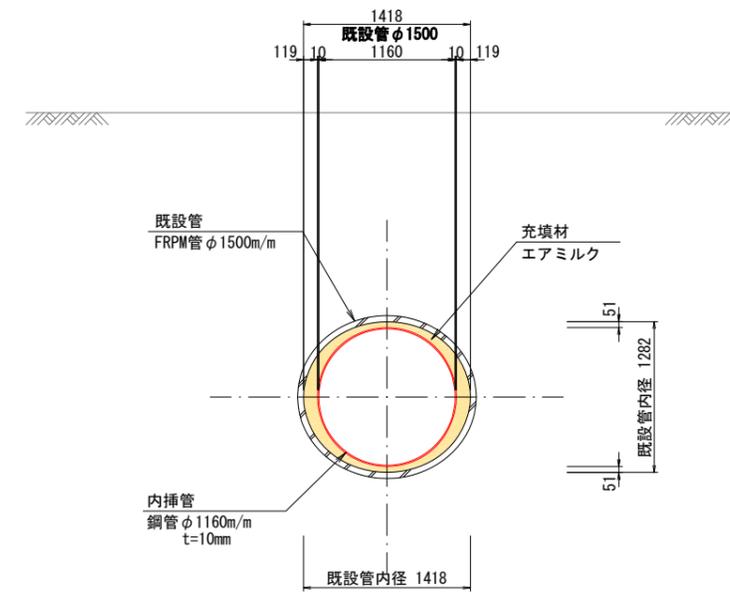
PIP工法

S=1:30

PIP工法 標準断面図
既設管FRPM1500A+鋼管φ1300m/m



PIP工法 標準断面図
既設管FRPM1500A+鋼管φ1160m/m



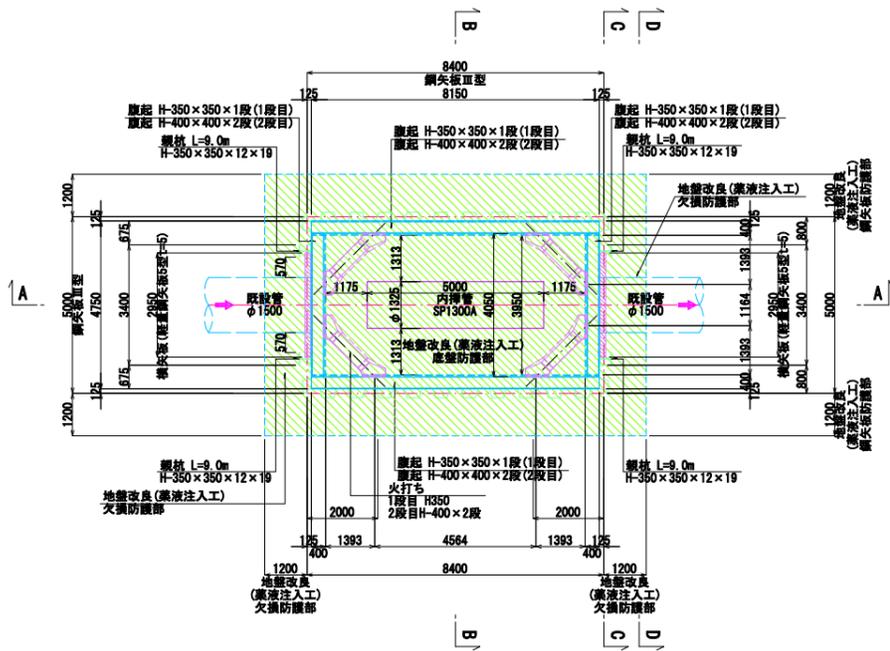
承認	審査	設計
工区名		
名称 改築計画管理設標準断面図 (3/3)		
登録番号	整理番号 II-03	
独立行政法人水資源機構後川下流総合管理所		

パイプインパイプ 立坑構造図

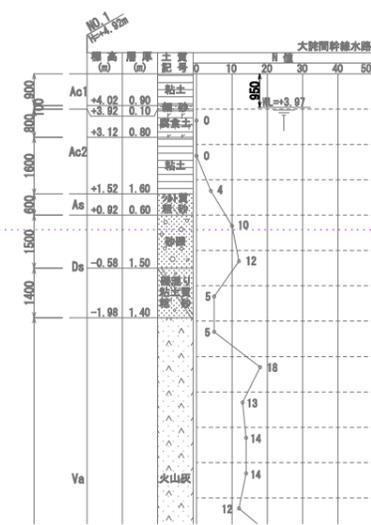
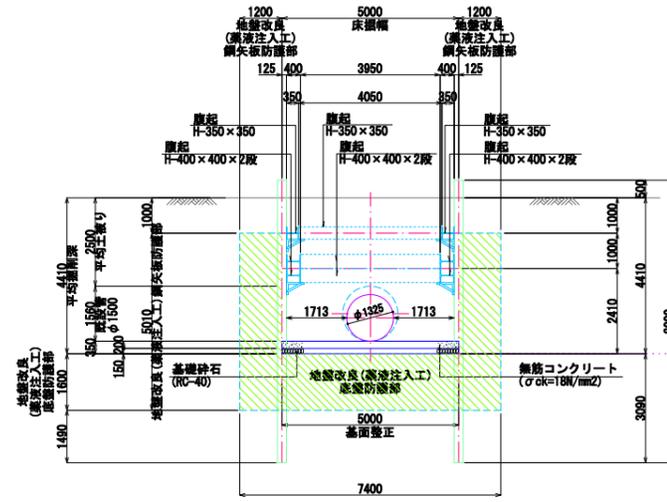
大詫間幹線水路 上流管路 PIP工法改築用仮設立坑標準図

S=1:100

平面図



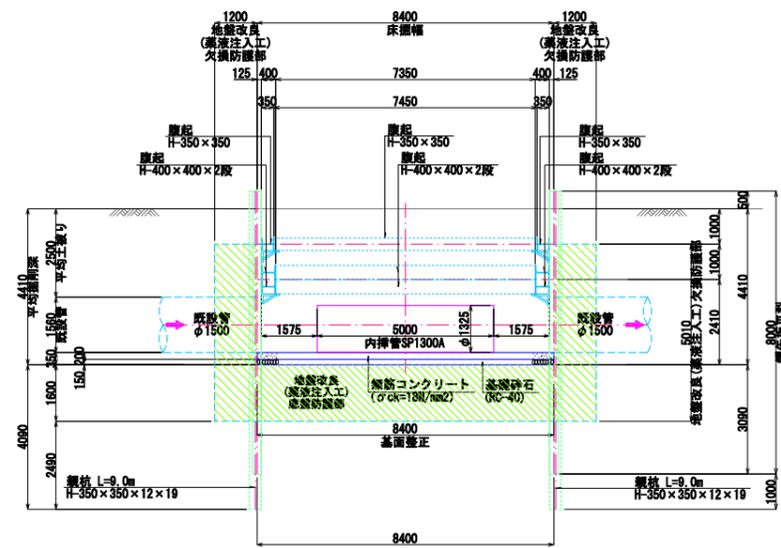
B-B断面図



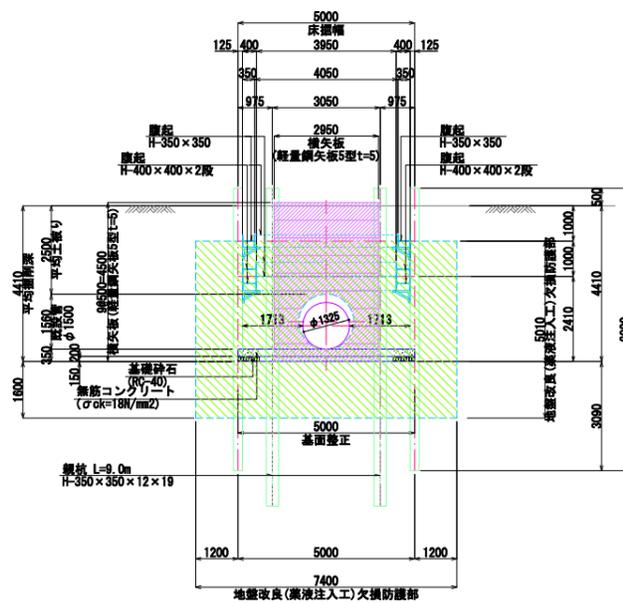
土質定数一覧表[大詫間幹線水路(上流管路)]

記号	地層	代表 N値	土の湿潤 体積重量 γsat (kN/m³)	粘着力 C (kN/m²)	内部 摩擦角 φ (°)	透水係数 K (cm/s)
Ac1	粘土	2	17.0	25.0	0	—
Ac2	粘土	0	14.1	11.8	0	—
As	砂質土	10	18.5	0	35	1×10⁻⁴
Ds1	砂質土	10	18.5	0	35	1×10⁻⁴
Ds2	粘性土	6	18.3	52.0	0	—
Va1	火山灰	19	15.0	0	35	5×10⁻⁴
Va2		40	15.0	0	40	5×10⁻⁴
Dc2	粘性土	11	18.3	71.0	0	—
Ds2	砂質土	38	18.5	0	40	1×10⁻⁴

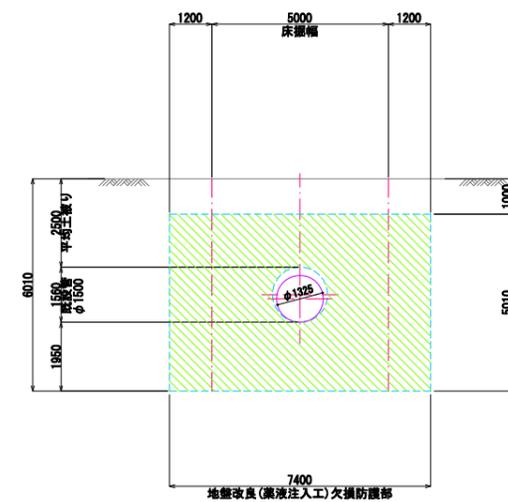
A-A断面図



C-C断面図



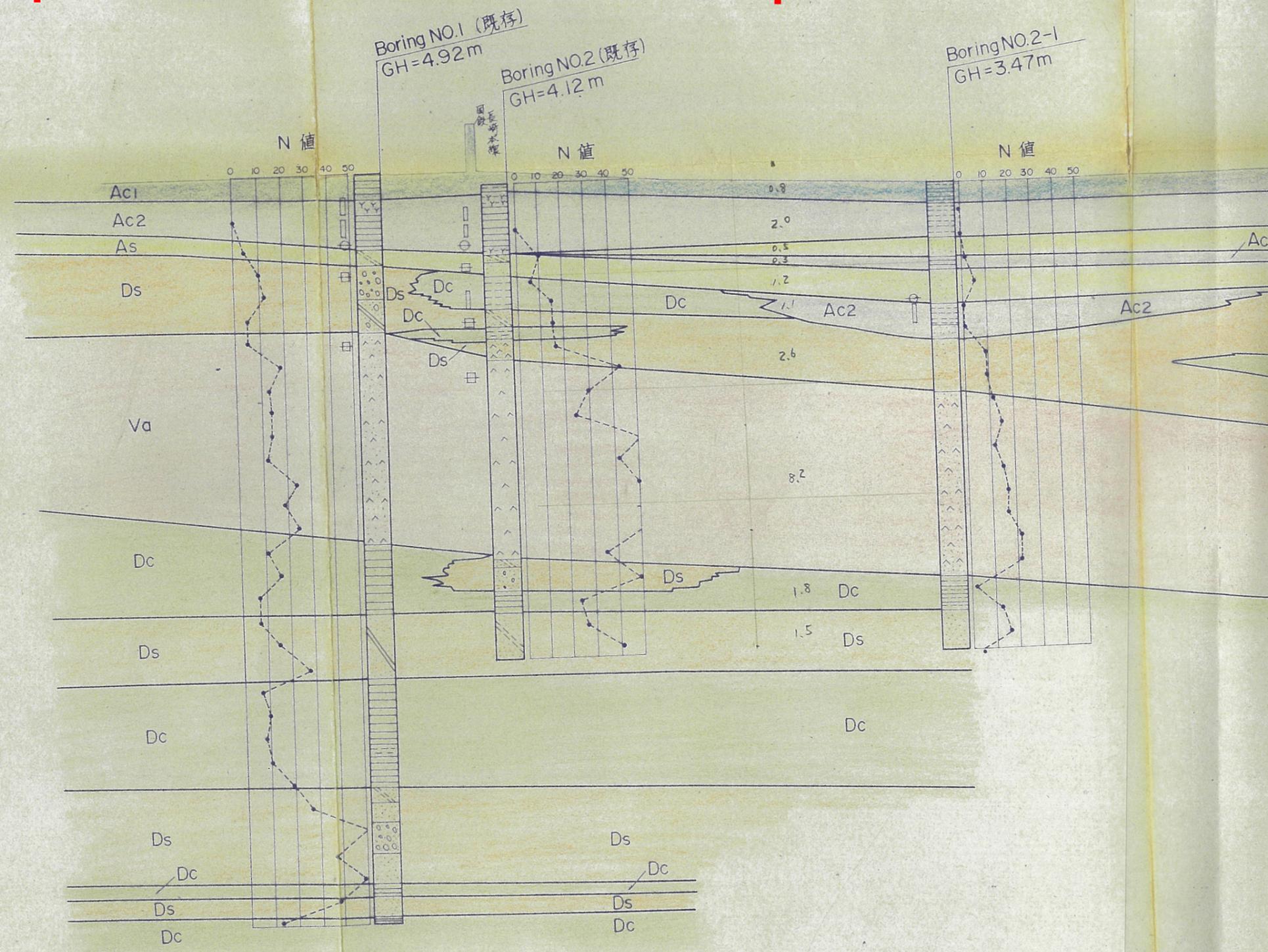
D-D断面図



承認	審査	設計
工区名		
名称 PIP工法改築用仮設立坑標準図		
登録番号	整理番号	II-12
独立行政法人水資源機構後川下流総合管理所		

設計範圍

標高(m)
5
0
-5
-10
-15
-20
-25
-30



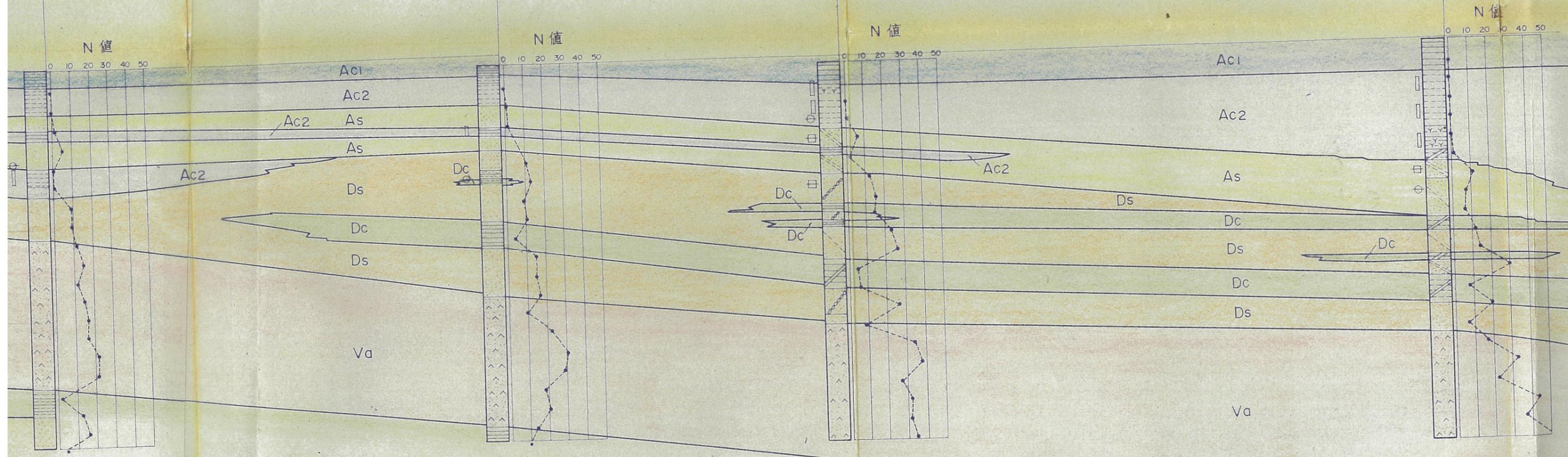
地質断面图 S: V=1:200
H=1:5000

Boring NO.2-1
GH=3.47m

Boring NO.3-1
GH=3.20m

Boring NO.4 (既存)
GH=3.08m

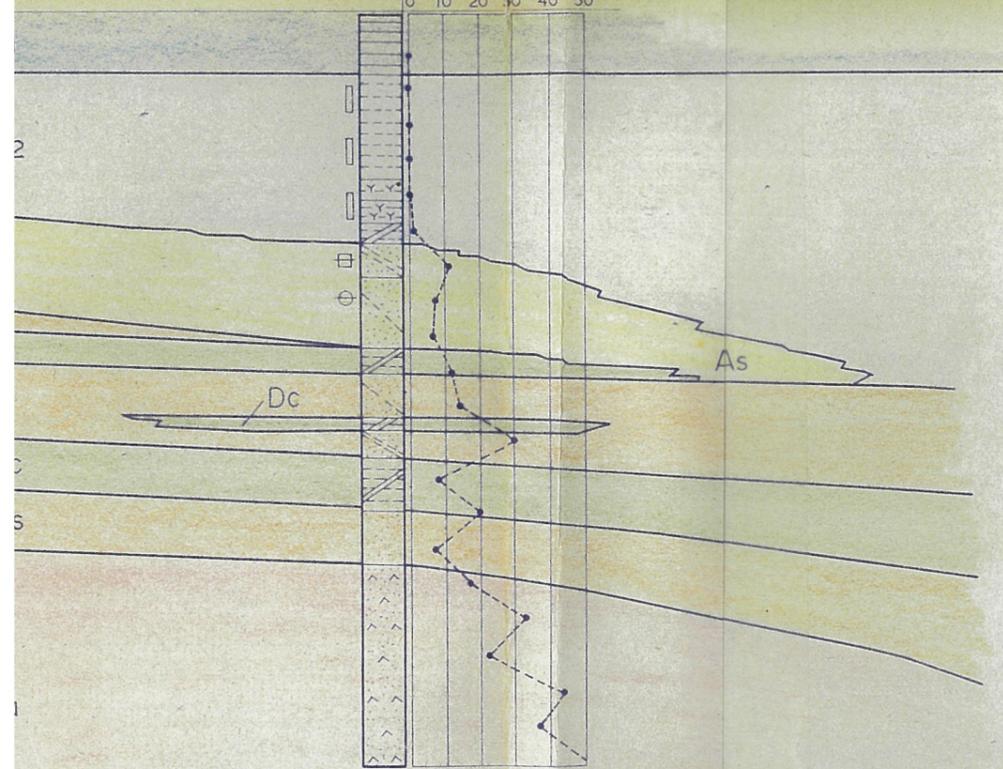
Boring NO.5 (既存)
GH=3.46m



Boring NO.5 (既存)
GH=3.46m

N 値

0 10 20 30 40 50



凡 例

標高 (m)

